

審議会等会議録


会議の名称	令和5年度 加須市立大利根集会所運営委員会
開催日時	令和6年3月7日（木） 14時00分～15時00分
開催場所	大利根中学校 2階「特活室」
議長氏名	塚本 直樹（委員長）
出席委員	塚本 直樹（委員長）、 増田 博幸（副委員長）、 竹内 輝彦、 小林 貞子、 横塚 雅光、 小澤 ゆう
欠席委員	岡田 輝彦、 柳原 三枝子（委任状提出）、 石川 俊子（委任状提出）、 坂田 陽子（委任状提出）
会議次第	1 開 会 2 あいさつ（委員長） 3 議 題 （1）令和5年度大利根集会所事業報告について （2）令和5年度大利根集会所利用状況報告について （3）令和6年度大利根集会所事業計画（案）について 4 事務連絡 5 閉 会
会議資料の名称	令和5年度 加須市立大利根集会所運営委員会 会議資料 （1）令和5年度 大利根集会所事業報告 （2）令和5年度 大利根集会所利用状況報告について （3）令和6年度 大利根集会所事業計画（案）
会議の公開又は 非公開の別	一部非公開（傍聴を認めない）
非公開の理由	同和問題に触れる際の委員の発言が被差別地域の場所を具体的に 特定してしまいかねないこと（過去の会議における経験）から、差 別につながる情報が傍聴者を介して拡散することを防止するため。
傍聴者の数	—
説明者の職・氏名	生涯学習課大利根文化・学習センター館長・幼方忠雄
事務局職員職・氏名	生涯学習課大利根文化・学習センター館長・幼方忠雄 生涯学習課大利根文化・学習センター主任・墓 佑介
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発 言 者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（基）	<p>簡単な挨拶の後、開会を告げる。（開会）</p> <p>塚本委員長と協議し、会議を一部非公開（傍聴を認めないこと）としたことを報告。</p> <p>委員の点呼と紹介、欠席委員のうち3名から委任状が提出されていることの報告、ならびに事務局職員の紹介。</p>
事務局（基）	<p>運営委員会規則に則り委員長が議長を務める旨説明。</p>
議長（委員長）	<p>挨拶の後、議事開始。</p> <p>議題（1）「令和5年度 大利根集会所事業報告」について、事務局に説明を求める。</p>
事務局（幼方）	<p>議題（1）「令和5年度 大利根集会所事業報告」について、資料 P. 1～3に基づき説明。</p>
議長（委員長）	<p>事務局の事業報告の説明に対する質問等はないか。</p>
小林委員	<p>どうして小学生教室は豊野小学校だけなのか、以前にも質問した。他の小学生にも体験させられたらよい。</p>
事務局（幼方）	<p>当初は集会所を会場に、学校の別なく参加できるプログラムが主であったが、学校からの移動の際の安全配慮等から、校内での活動へと変化。指導者の確保や地域の支援環境等、学校ごとに事情も異なる中で現状に至ったと思われる。</p> <p>集会所は、「学童保育」も「子ども食堂」もなかった半世紀も前から学校と地域の力で「子どもの居場所づくり」を実践してきた。その実績は、文科省が進めている「放課後子ども教室」にも貢献できる。</p>
議長（委員長）	<p>他に発言はないか。</p>
増田委員	<p>全課程に参加することを前提に小学生教室参加者を募集し、結果的には4名だった。新年度も継続の子もいれば、そうでない場合もあるだろう。小学生教室の最低実施人数を決め、実施しないこととなった場合、個別参加できる体験交流学習の機会が用意されるということか。</p>
事務局（幼方）	<p>事業をなくさないためにも、代替りの企画が必要と考えている。</p>
議長（委員長）	<p>小学生教室の参加申込者が少なかった場合、別の方法でプログラムを用意し、個別に募集することもあるということか。</p>

事務局（幼方）	<p>大利根地域の4小学校の児童を対象とするなど、新たな事業展開も検討したい。</p> <p>その場合、アスタホールや集会所が会場となるが、教職員の負担増とならないよう、小学生の移動は保護者による送迎としたい。</p>
議長（委員長）	<p>中学生教室は放課後の校内での学習なので、教職員の負担は少ない。</p> <p>西中学校での集会所学習では、放課後に生徒たちが集会所へ移動することだけでも大変。指導者確保のため他校の教員の応援を得ている。</p>
議長（委員長）	事務局、補足はないか。
事務局（幼方）	<p>数年にわたるコロナ禍の影響で事業の中止・縮小が続き、地域における事業への関心の低下、存在感の希薄化が懸念されることから、生涯学習課としての対策を検討中。</p> <p>参加者が少ない場合の事業実施の是非が問われているので、併せて具体策の検討を進めたい。</p>
議長（委員長）	他に質問・意見はないか。
	（「はい」の声、挙手なし）
議長（委員長）	<p>事務局には、現状も踏まえて来年度に向け検討してほしい。</p> <p>議題（1）「令和5年度 大利根集会所事業報告」について、承認することによいか。</p>
	（「はい」の声）
議長（委員長）	議題（1）「令和5年度 大利根集会所事業報告」を承認する。
議長（委員長）	次に、議題（2）「令和5年度 大利根集会所利用状況報告」について、事務局の説明を求める。
事務局（幼方）	議題（2）「令和5年度 大利根集会所利用状況報告」について、資料P.4に基づき説明。
議長（委員長）	質問等はないか。
	（挙手なし）
議長（委員長）	夜間は10時（22時）まで利用可能か。
事務局（幼方）	体育館へのカギの返却が22時まで、ということ。
議長（委員長）	議題（2）「令和5年度 大利根集会所利用状況報告」について、承認ということによいか。
	（「はい」「異議なし」の声）

議長（委員長）	議題（２）「令和５年度 大利根集会所利用状況報告」を承認する。
議長（委員長）	続いて、議題（３）「令和６年度 大利根集会所事業計画案」の説明を事務局から。
事務局（幼方）	本日この時間、生涯学習課において集会所事業の小学生・中学生対象の学習活動をめぐる見直し案（新年度の方針案）の検討を行っている。課長の了解を得たので参考に御覧に入れるが、会議終了後に回収させていただく。
	（事務局から追加資料を配付）
事務局（幼方）	資料 P.5 により、「令和６年度 大利根集会所事業計画案」を説明。
議長（委員長）	質問はないか。
	（挙手等の反応なし） （事務局が議長に追加説明の許しを求める）
議長（委員長）	事務局から補足を。
事務局（幼方）	集会所の管理・運営を所管する生涯学習課として、地域ごと・集会所ごとに異なる事業の現状を見直し、独自性を大切にしながらも、市域全体での展開を念頭に置いた事業全体の底上げと標準化を図ろうと、新年度の方針を検討している。 小学生教室・中学生教室の実施校には、３月１２日（火）の校長先生たちの会議の席上で来年度の方針が示される予定。
議長（委員長）	質問はないか。
	（挙手等の反応なし）
議長（委員長）	質問がないので、議題（３）「令和６年度 大利根集会所事業計画案」について、原案どおり承認することに意義はないか。
	（「はい」「異議なし」の声）
議長（委員長）	異議なしと認める。 議題（３）「令和６年度 大利根集会所事業計画案」資料から「案」の文字を消していただきたい。
議長（委員長）	以上、本日のすべての議題の審議を終了する。 協力に感謝する（会釈）。
	（全員が委員長に会釈）

事務局（臺）	委員長はじめ出席委員全員に謝意を述べる。 続けて、事務連絡について案内。
事務局（幼方）	次の4点について連絡。 1. 委員謝金の支払いについて 2. 会議録の公開と署名について 3. 令和6年度の集会所事業実施方針案（たたき台）の回収について 4. 運営委員の任期満了にともなう後任委員候補者の推薦について
事務局（臺）	あらためて謝意を述べ、閉会を宣言。（閉会）
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。（注）</p> <p>平成 6年 3月18日</p> <p>署名 <u>塚本直樹</u> </p>	

（注）特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。